



校長だより

日中丸



第24号
R1. 12. 13

日間賀中学校長
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さんが作成

持久走大会 12.10(火)

持久走大会を行いました。晴天の下、女子は1,925m、男子は2,825mで競いました。授業や部活動での成果を発揮すべく、苦しいなかで歯を食いしばって、全力で取り組みました。その姿から、応援の生徒や保護者からは大きな声援が飛んでいました。ゴールした後の生徒の顔は、達成感から笑顔でした。一人一人が自分と向き合い、精一杯努力する姿はたいへんすばらしかったです。よい経験となったと思います。

安全に大会が運営できるよう見守っていただきました皆様、また、ご声援いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。



朝会より 12.9(月)

生徒発表（12月のテーマ：人権について）

鈴木悠斗さん（1年）

人権という言葉聞いても、人権週間以外では聞き慣れない言葉なのであまり意味が分かりませんでした。しかし、前の朝会で校長先生の話聞いて、一人一人の命を大切にすることが分かりました。

最近、ニュースを見ていると、親などからの虐待によって命が奪われたという悲しいニュースをよく見ます。そのようなニュースを見ると悲しくなります。一人の人間として生まれたからには、人は平等に大切にされるべきであると思います。また、同時に、人は他者をよく理解し、尊重することが大切であると思います。

これからの中学校生活を送る中で、一緒に勉強したり部活動で一緒にプレーしたりする仲間を大切にしていきたいと思っています。

北川結唯さん（2年）

私は人権と聞いたときに、人種差別が思いつきました。しかし、人種差別は自分のまわりで起きていないし、あまりなじみのないことなので調べてみました。調べてみたら、たくさん問題が起きていたり悲しい事件が出てきたりしたので、差別はダメだなと実感しました。

人権は誰もがもっていて誰もが守らなければならないものですが、自分たちとは異なる文化を拒否しようとする人たちが増えてしまったら、この問題は永遠に解決しません。だから私は、他国の文化に興味をもち、心を開いていくことが世界の平和につながると思います。そして、このような人がたくさん増えていったらいいなと思います。私もそんな人になりたいです。

樫山亮太先生の話

こんな話をしてくれました。

12月7日（土）に、愛知県市町村対抗駅伝競走大会の応援に出かけました。ランナーが各市町村の代表として一生懸命走る姿を目の当たりにして、わたしは高校時代のある出来事を思い出しました。

中学時代は野球をしていましたが、高校では「全く違うことに挑戦しよう」と、演劇部に入部しました。しかし、新入部員は私一人だけ、先輩は3年生が2人だけでした。夏の大会を終えて3年生が引退すると、一人で活動を始めました。グラウンドに出て一人で「アメンボ赤いなあいうえお…」と発声練習をしたり、一人でグラウンドを走ったり…。

たった一人でそのような練習をしていると、グラウンドで活動している他の部活動から、笑われました。私は一生懸命にやっているのに、みんなが笑うのです。

「一生懸命やっているのに、どうしてみんなは笑うのか」「よし、自分は、一生懸命やっている人を馬鹿にしない人になろう」そんな想いを抱きました。

自分が高校でしてきたことがかっこいいでしょ、と言いたいわけではありません。ただ、一生懸命に物事に取り組む姿は、美しい、かっこいいと思います。駅伝で走っていたランナーたちは、みんな汗だくで息が切れて苦しい表情をしていましたが、その一生懸命さは輝いていました。かっこいい！と思いました。全然知らないランナーなのに、頑張れ！と大きな声が出ました。

明日は持久走大会です。みんなが懸命に走る姿を見るのを楽しみにしています。



校長の話

こんな話をしました。

先週の月曜日に「第8回 日間賀サミット」が行われました。サミットに参加して感じたことを伝えます。今回のサミットでは3年生や生徒会長がコーディネーターと記録を担当してくれました。どのグループでも、自信をもって堂々と話し合いを進めていました。また、参加した人たちも自分の言葉で、しっかりと伝えられていました。これは、普段の授業で身につけた力を発揮できた証拠だと思います。こういった力が、将来の日間賀島、さらには日本を支えていくのだろうと感じました。参加した皆さん、お疲れ様でした。

もう一つ話をします。

先週の土曜日に「愛知駅伝」が行われ、林先生と笠島先生が南知多町の代表として参加しました。会場へ出かけて応援してくれた人もいますね。私も会場へ行って応援しました。林先生も笠島先生も歯を食いしばって、必死に走っていました。そして、応援する人たちも大きな声で、声援を送っていました。後で話を聞くと、その声援が力になり、苦しいけれども、またがんばろうという勇気変わったそうです。がんばっている人を見ると応援したくなるのは当たり前前の感情です。そして、応援してもらおうと、がんばろうと勇気がわいてくるのも当たり前前のことです。明日は、持久走大会が行われます。一人一人がベストを尽くし、互いに応援し合い、勇気を振り絞ってがんばってほしいと思います。期待しています。